愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	髙柳 伸哉	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習I･IIを通じて、各学生が興味を持って研究できるテーマを見出し、卒業論文の作成について学習することを目的とする。　研究テーマの内容は、人間のこころや行動について考える。例えば、教育現場の問題（いじめ、不登校、非行、暴力、発達障害等）、心の病の問題（うつ、自殺等）、社会の問題（ジェンダー、DV等）、自己の問題（自信のなさ、自己尊重感、自己概念等）、これらの領域を中心とする。研究テーマを探す方法としては図書館での本や論文の検索、インターネットでの検索等を行い、資料の取り寄せが行えるようになる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義と演習形式で授業を行う。 専門演習Iでは文献研究を主体とした小グループでの研究を行う。全体での講義をはさんで、グループで研究テーマの決定、論文の作成へと進む。研究成果をパワーポイントにまとめ、最後に各グループが発表を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス　専門演習Iの進め方	専門演習Iの授業の概要、事前事後学習、受講の注意	□
第2回	講義　テーマの決定、構想を考える、先行研究を探す	1.論文とは　2.文献研究の論文の書き方	□
第3回	各グループで研究を行う（1）テーマを決定し構想を考える	「何が問題なのか」「なぜ問題なのか」を考える	□
第4回	各グループで研究を行う（2）アウトラインの作成	序論についての簡単なアウトラインを考える	□
第5回	各グループで研究を行う（3）背景説明	1.事物の説明　2.先行研究の紹介	□
第6回	各グループで研究を行う（4）問題提示	1.問題点を指摘する　2.疑問を示す先行研究を明らかにする	□
第7回	各グループで研究を行う（5）方向づけ	1.論文の目的を示す　2.問題提起で示された問題の解決方法が分かるようにする	□
第8回	講義　本論の概略	本論の流れについて講義する	□
第9回	各グループで研究を行う（1）論拠を示す論文等を探す	図書館やインターネットを使って論拠を示す資料を探す	□
第10回	各グループで研究を行う（2）論拠の提示	資料とデータをかき分ける	□
第11回	各グループで研究を行う（3）意見の作成	先行研究と意見を使って、論拠を示す	□
第12回	各グループで研究を行う（4）結果の証明	論拠と意見を使ってなぜそのような結論になるのかを証明する	□
第13回	講義　発表の仕方	全体のまとめ方と分かりやすいプレゼンテーション	□
第14回	グループで発表をまとめる	グループでの発表パネルの作成	□
第15回	グループ発表と全体の講評	1.各グループが発表する　2.全体で振り返りを行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

シラバスには授業ごとの学習テーマが提示されている。各テーマに関する参考書、資料等が事前に示されるので、事前学習として授業までに予習をしてくること。（2時間）　事後学習として、授業内で提示されたテーマのまとめについての学習をすること。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に小レポートが実施され、それらは採点され次回の授業の冒頭で講評する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	心理学研究を基盤として、問題意識を持ったテーマの設定、資料探し、論文作成、研究発表ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		